

2016年1月9日

関係各位

阪神調剤ホールディング株式会社 代表取締役社長 岩崎 壽毅
アント・キャピタル・パートナーズ株式会社 代表取締役社長 飯沼 良介

調剤薬局の共同M&Aの推進に関する

資本業務提携のお知らせ

全国で257店舗の調剤薬局を傘下に持つ阪神調剤ホールディング(以下「阪神調剤HD」という。)と国内中堅・中小企業を対象とするバイアウト投資を手掛けるアント・キャピタル・パートナーズ株式会社(以下「アント・キャピタル」という。)は、阪神調剤HD及びアント・キャピタルのプライベートエクイティグループが管理・運営する投資事業有限責任組合等(以下「アント・ファンド」という。)と共同で設立する合弁会社(以下「JV」という。)を通じて調剤薬局のM&Aを推進するため、包括提携を行うことについて合意いたしましたのでお知らせいたします。

1970年代から本格的に始まった医薬分業により発展してきた調剤薬局業界は、昨今オーナー経営者様の事業承継が大きな課題となっております。そのような状況下、平成28年度調剤報酬改定や平成29年度消費税増税を前に、中小規模を中心とした調剤薬局の事業譲渡ニーズが増加している中、阪神調剤HDは従前よりM&Aによる事業拡大に注力して参りましたが、今後さらなる成長を目指し、M&Aを迅速かつ効果的に進めていくために、バイアウト投資と経営改善・統合に実績のあるアント・キャピタルと包括提携をすることといたしました。なお、個別の案事情に応じて阪神調剤HD単体でのM&Aも検討して参ります。アント・キャピタルといたしましては、業界有数の実績とブランドを有する阪神調剤HDと提携することにより、事業譲渡案件のソーシングや、投資後の経営改善をより効果的に進めることができると考えております。

新たな投資スキームとしては、阪神調剤HDとアント・ファンドが共同出資でJVを設立し、そのJVが調剤薬局のオーナー様より会社または事業を譲り受けすることを想定しております。JVの代表取締役社長には阪神調剤HDの専務取締役 岩崎裕昭が就任予定です。

M&Aによる調剤薬局の阪神調剤HDグループ入りする方法としては、社名・屋号・店舗名を変えずに、グループ入り後も事業会社が経営を継続する形式のほか、事業会社の希望により、現在、検討中のグループ共通の社名・屋号・店舗名で直接運営する事も想定しております。

す。

当該包括提携の下で、阪神調剤 HD が創業以来長年にわたる調剤薬局の運営により蓄積してきた知見やノウハウ等を、当該スキームにより譲り受けた調剤薬局の経営に活かして参ります。具体的には、阪神調剤 HD との共同仕入れ等により双方の調達力を上げ、薬剤等の原価負担を軽減していくことや、薬剤師の採用・教育に関する助言や支援、薬局運営に関する各種システムの開放によるデジタル化対応の支援などを想定しております。

他方、アント・ファンドにおいては、そのバイアウト業務を通じて培った M&A 及び財務・経営管理の知識及び経験を提供し、JV を積極的に支援していくことを想定しております。

また、阪神調剤 HD は、多様な業種・業態の中堅・中小企業の経営改革を行ってきたアント・キャピタルとの当該包括提携での協業を通じて新たな薬局チェーンの経営手法を開発し、それを阪神調剤 HD 本体の経営に活かしていくことも目指しております。

当該スキームを通じた共同譲受けスキームは、北海道から鹿児島までの店舗網を持つ阪神調剤 HD のプラットフォームとアント・キャピタルの財務・経営管理の知見を活用する事により、長年地域に根差して運営されてきた中小規模の調剤薬局が、今後も各地域で発展し、政府（厚生労働省）が進める地域包括ケアシステムを構築していく一助になれるものと確信しております。

なお、本日、阪神調剤 HD は首都圏の M&A を含む事業推進の拠点として東京本社を開設しております。

【本件に関するお問い合わせ先】

阪神調剤ホールディング株式会社

担当（小瀬）

Tel: 0797-35-6213

アント・キャピタル・パートナーズ株式会社

担当（田中・野呂瀬）

Tel: 03-3284-1711

※調剤薬局事業の譲渡をご検討の方も上記連絡先までお問い合わせ下さい。